



公開講演会

「文化財をめぐる 天災と人災」



(東栄町 花祭り)

愛知県域には、生活者住民が創造・継承してきた有形・無形の文化財に満ちています。今後さらに、調査による新発見や研究による新解釈も多はずです。文化財は、先人による生活構築の証拠であり、将来を築くための礎となる遺産です。ところが今日、天災はいつ来ても不思議ではありません。いま審議中の文化財保護法改定のことにも気になります。鑑賞、研究、保存、参加、宣伝……。私たちは、文化財に対してどのように向き合うべきでしょうか。公開講演会では、問題を発見しつつ、活動の指針を考えたいと思います。

(普門寺 文化財調査の様子)



講師：久保 智康氏

(京都国立博物館名誉館員 叡山学院教授・愛知県文化財保護審議会委員)

講師プロフィール：専門は考古学・美術史学

『金色のかざり』『中世・近世の鏡』『飾金具』『東アジアをめぐる金属工芸』『日本の古代山寺』などの編著書がある。実物観察のプロフェッショナル、金工研究の第一人者、学芸員業務の理想実践者、文化財行政への正当見識者、仏教者たる普遍思想の発信者として、多面多臂でご活躍中です。

コメンテーター：

高梨 光正氏 (愛知県立芸術大学美術学部芸術学専攻准教授)

大塚 英二氏 (愛知県立大学日本文化学部教授 愛知県文化財保護審議会委員)

2018年 2月 18日 (日) 13:00 ~ 16:00 (受付開始 12:00)

会場 = 愛知県立大学 長久手キャンパス
特別講義棟 (S棟) S201
 申込不要・入場無料



《交通アクセス》

●リニモ「藤が丘」駅から八草行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分
●リニモ「八草」駅から藤が丘行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分